

株 主 通 信

AUTUMN 2016

100号

2017年3月期

第1四半期
決算報告

Fit your needs, Fit your future

期待に応じて、未来を形に...

SCREEN NOW

株主の皆さまへ

一步先の未来に
Challenge



平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第1四半期連結累計期間(2016年4月1日～6月30日)の業績は、セミコンダクターソリューション事業(半導体機器事業)、ファインテックソリューション事業(FPD機器事業)では、関連業界の堅調な設備投資により、前年同期比で増収増益の売上高622億円、営業利益51億円(営業利益率8.2%)の好決算になりました。財務面では、純有利子負債が解消し、112億円のネットキャッシュポジションを実現しました。また、受注環境も良好で、セミコンダクターソリューション事業としては高水準の500億円に迫り、ファインテックソリューション事業でも3四半期連続100億円レベルと同じく高水準を維持し、中期3カ年経営計画最終年度にあたる今期としては、おおむね好調なスタートを切れたと考えております。

また、主力の半導体機器事業では9月1日に待望の新製品の販売を開始し、既存市場の裾野拡大を目指してまいります。その他、国内外に新しい会社を設立するなど、成長に向けてさまざまな布石を打っております。そのような中、当社はこのたび、JPX日経インデックス400銘柄に選ばれました。これは、単年度の業績のみならず、資本効率改善、ROE向上、ガバナンス(企業統治)体制など、総合的な判断による選定であり、中期3カ年経営計画を進めてきた中での一つの評価だと、喜ばしく受けとめております。同時に、これに慢心することなく、今後も持続的に企業価値向上を目指し、多様なチャンスに果敢にチャレンジしてまいります。引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役 取締役社長
最高経営責任者(CEO)
垣内 永次

SCREEN

枚葉式洗浄装置「SU-3300」を発売

～世界最高水準の生産性と高い処理性能を実現～

株式会社SCREENセミコンダクターソリューションズはこのほど、世界最高水準^{※1}となる処理能力と、独自の洗浄処理技術を備えた半導体ウエハーの枚葉式洗浄装置^{※2}「SU-3300」を開発。2016年9月から販売を開始します。

この装置は、チャンバーサイズを最小化した4段積みタワー構造により最大24台のチャンバーの搭載が可能。設置スペースの



効率化と併せて世界最高水準の生産性を実現しました。また、洗浄処理においても、定評のある独自のクリーン化技術を進化させた「APAC2」^{※3}を搭載。チャンバー内の処理環境を向上させ、微細化が進む半導体デバイスに対応します。さらにエッチングの均一性と薬液消費量の削減を同時に実現する「Nano control nozzle」^{※4}や、微細なパターンの倒壊を抑制する乾燥技術「Nanodry7」^{※5}など、処理性能を高める独自の新技术を搭載しています。

.....

※1 実用洗浄処理の領域における生産性。(2016年8月現在、当社調べ)

※2 ウエハーを1枚ずつ洗浄する装置。50枚のウエハーを一度に洗浄するバッチ式洗浄装置よりも洗浄能力が高い。
近年、スループットにおいてもバッチ式洗浄装置と同等のレベルが求められている。

※3 「Advanced Process Atmosphere Control 2」の略。チャンバー内の超清浄化を実現する当社独自のクリーン化技術。当社枚葉式洗浄装置「SU-3200」で定評のある技術をさらに進化させてチャンバー内の処理環境が向上している。

※4 薬液の温度・流量・吐出位置を高精度に制御する当社独自技術により、従来ノズルの約半分の薬液使用量で、均一性の高い薬液塗布が行える。

※5 ウエハー上の気液界面（三相界線）の制御を、高精度かつスピーディーに処理する新乾燥技術。チャンバー内の温度・湿度を常に最適な状態にコントロールすることにより微細なパターンの倒壊抑制に優れた効果を発揮。

当社が「JPX日経インデックス400」に採用されました



株価指数「JPX日経インデックス400」は、企業の持続的な成長性とガバナンスに着目して銘柄を選定するもので、いわば企業にとっての通信簿のようなものです。東証上場約3,500銘柄から、3年平均のROE、3年累積の営業利益、時価総額の定量面に加え、独立社外取締役の選任などの定性面も評価し、上位400位までが構成銘柄として選ばれます。当社はこのたび、「JPX日経インデックス400」に採用されましたが、これはグローバルな投資基準に求められる要件を満たしたと評価されたことを意味しています。当該指数を使ったインデックスの買いが株価の下支えとなることで、より広く多くの投資家に対して、投資対象としての魅力と信頼性をアピールできるようになります。

用語解説

●コーターデベロッパー:

フォトレジスト(感光剤)の塗布と現像を行う装置。塗布現像装置ともいう。

●バッチ式洗浄装置:

複数のウエハーを一括で処理する洗浄装置。

●ファウンドリー:

半導体の受託生産を行う企業。

●POD(Print on Demand):

プリントオンデマンドの略。必要なときに必要な部数を印刷すること。

●直接描画装置:

回路パターンを高速・高精細で基板に直接描画(露光)する装置。従来の露光方式に比べ、納期の短縮やコストの大幅な削減が可能。

●OLED(Organic Light Emitting Diode):

有機ELの略。発光ダイオードの一種。消費電力が少ないディスプレイや照明に向いている。

セグメント別業績(第1四半期: 2016年4月1日~6月30日)

セミコンダクターソリューション事業

売上高 **412億円**
(前年同期比 19.0%増)

営業利益 **43億円**
(前年同期比 105.3%増)

- 前年同期に比べ、ファウンドリー向けやメモリー向けの投資が活発で、売上は増加しました。
- 製品別では、バッチ式洗浄装置の販売が好調に推移したことに加え、枚様式洗浄装置の売上も増加いたしました。
- 営業利益は売上の増加などにより増益となりました。

今後の見通しと取り組み

- 通期では、ロジック/ファウンドリーの微細化および3D-NANDへの量産投資意欲が旺盛で、全体的には堅調に推移する見込みです。

グラフィックアンドプレジジョンソリューション事業

売上高 **114億円**
(前年同期比 22.5%減)

営業損失 **1億円**
(前年同期は 9億円の営業利益)

- 印刷関連機器については、為替が円高に推移したこと、世界最大の総合印刷機材展 drupa 前の買い控えの影響により、前年同期に比べ、減収減益となりました。
- プリント基板関連機器については、為替が円高に推移したことなどにより、海外での売上が減少しました。
- 営業利益は売上の減少により減益となりました。

今後の見通しと取り組み

- 為替変動は予想されるものの、北米を中心とするPOD販売の強化などにより、業績は回復する見込みです。

ファインテックソリューション事業

売上高 **93億円**
(前年同期比 47.9%増)

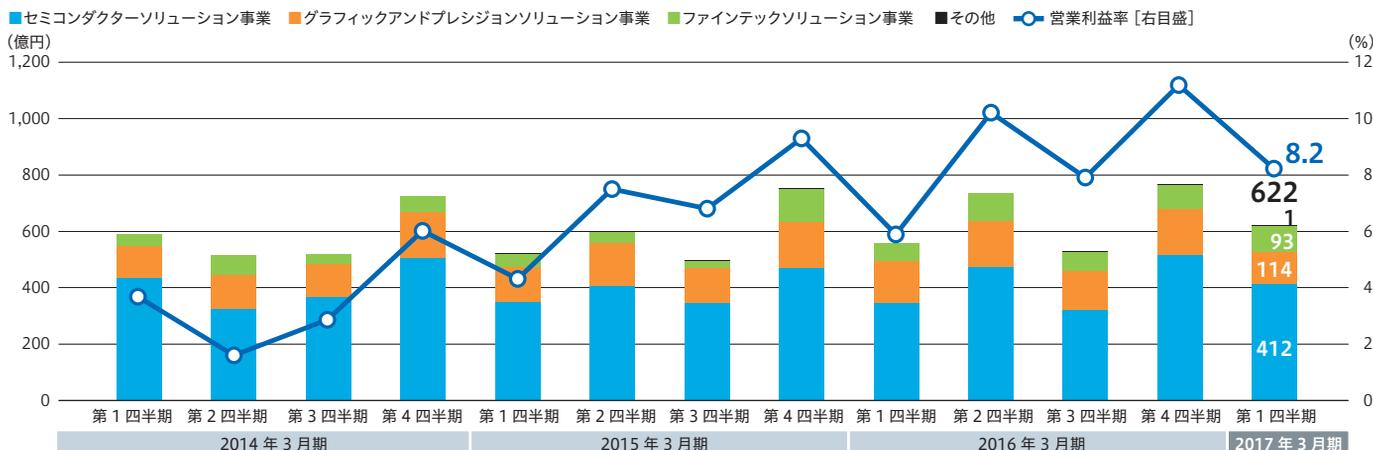
営業利益 **12億円**
(前年同期は 1億円の営業利益)

- 中国向けの大型パネル用製造装置の売上は減少しましたが、国内や台湾向けの中小型パネル用製造装置の売上が増加したことから、売上は増加しました。
- 営業利益は、売上の増加に加え、変動費率の改善効果などにより、増益となりました。

今後の見通しと取り組み

- 受注環境は好調で、第2四半期を含めて4四半期連続100億円レベルを継続する見込みです。LCDに加え、OLED関連の引き合いも続き、堅調に推移するとみています。

連結売上高/営業利益率の四半期推移

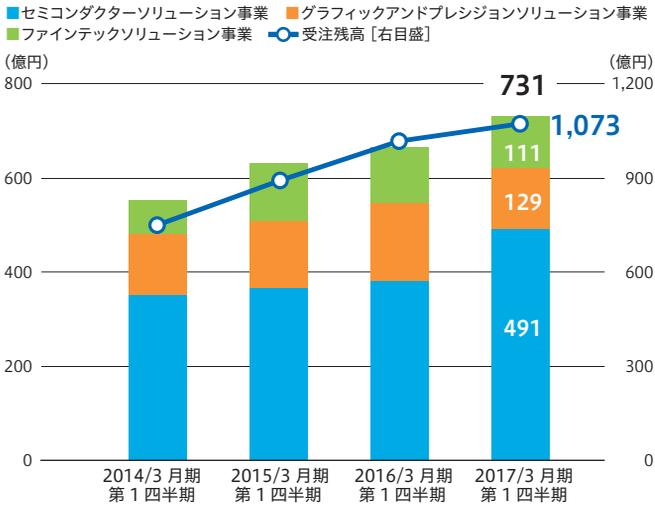


2017年3月期連結経営成績

(単位: 億円)

	第1四半期 2016年4月1日から 2016年6月30日まで	前年同期 2015年4月1日から 2015年6月30日まで
売上高	622	561
営業利益	51	32
経常利益	50	34
親会社株主に帰属する 四半期純利益	37	22

受注高・受注残高



2017年3月期連結業績予想

(単位: 億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 (当期)純利益
第2四半期 (累計)	1,330	117	114	85
通期	2,650	270	265	205

2017年3月期の期末配当につきましては、1株当たり70円(株式併合を考慮)を予定しております。

(注)本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。

TOPICS

当社グループはこのたび、以下の5会社を発足させました。

●「株式会社SCREEN IPソリューションズ」(日本):

→ 知的財産業務を分割した機能会社

●「株式会社SCREENアドバンストシステムソリューションズ」(日本):

→ ソフトウェアに関するソリューションの提供を行う事業会社

●「SCREEN Finetech Solutions Shanghai Co., Ltd.」(中国):

→ ファインテックソリューション事業関連の販売・保守サービスを行う事業子会社

●「SCREEN GP (Thailand) Co., Ltd.」(タイ):

→ プリント基板製造装置の保守サービスを行う事業子会社

●「SCREEN GP IJC Ltd.」(英国):

→ BHS Corrugatedのコーラゲートインラインデジタル印刷ソリューションに組み入れる新しい産業用インラインプリントエンジンを開発するための事業子会社

株式併合、単元株式数の変更

本誌の前号(99号)でお知らせしましたとおり、第75回定時株主総会(2016年6月28日開催)において、同年10月1日に株式併合*および単元株式数を変更することが承認決議されました。

*普通株式5株を1株に併合

	変更前	変更後
単元株式数	1,000株	100株
発行済株式総数*	253,974,333株	50,794,866株
発行可能株式総数	900,000,000株	180,000,000株

*「株式併合後の発行済株式総数」は、株式併合前の発行済株式総数および株式の併割合に基づき算出した理論値です。

本件に関してご不明な点がございましたら、お取引の証券会社、または下記の当社株主名簿管理人までお問い合わせください。

株主名簿管理人
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-782-031(フリーダイヤル)



UD FONT
by HIRAGINO

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

株式会社SCREENホールディングス

〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る四丁目天神北町1番地の1 電話075(414)7131
www.screen.co.jp 証券コード7735

SCREEN NOW Vol.100 発行日:2016年9月30日(発行は3月、6月、9月、12月) 発行:広報・IR室

「SCREEN NOW」(株主通信)は、当社のフォント「ヒラギノ書体」を使用しております。